

エンジン・オイル交換 [T3]

カプセル・カバーを開ける

1. 回転ファスナを回す
2. 回転ファスナを回す
3. カプセル・カバーを開く
4. クリップを掛ける

オイル・フィラ・キャップ取外し

オイル・フィラ・キャップを取り外す

サービス・ホール・カバー取外し

1. スクリュを取り外す
2. スクリュを取り外す
3. ファスナを取り外す
4. ファスナを取り外す
5. ファスナを取り外す
6. ファスナを取り外す
7. サービス・ホール・カバーを取り外す

オイル・パン・ドレーン・プラグ取外し

1. オイル・パン・ドレーン・プラグを取り外す
 2. ガスケットを取り外す
- 交換部品

エンジン・オイル抜取り



Warning:

停#直後のエンジンは#温で#傷のおそれがあるため、作業は#分に注意する。



CAUTION:

エンジン・オイルの抜取りが不#分な状態でエンジン・オイルを注#すると、エンジン・オイル量が規定値よりも多くなり、オイル・レベル・ゲージの「F」の位置を超えてしまう。エンジン・オイル抜取り時は、エンジンを暖機(エンジン・オイル温:約 80 °C {176 °F}以上)して、10分以上放置した後に抜取る。

Note:

エンジン・オイルの粘度は、エンジン・オイルの温度によって異なる。

Note:

エンジン冷間時はエンジン・オイルの粘度が高く、エンジン・オイルがエンジン各部からオイル・パンに戻るまで時間がかかるため、エンジン・オイルの抜取りが不#分になる。

Note:

エンジン・オイル温を約 80 °C {176 °F}以上にして、10分以上放置することで、エンジン・オイルがオイル・パンに戻り、エンジン・オイルを十分に抜取ることが出来る。

Note:

オイル希釀(粘度低下)、エンジン・オイル消費(油量減)に対応するため、オイル・レベル・ゲージの「F」の位置までエンジン・オイルを注入する。

Note:

手順通りにエンジン・オイルを抜取り、エンジン・オイルを規定量(参考値)注#すると、エンジン・オイルはオイル・レベル・ゲージの「F」の位置になる。

エンジン・オイルを抜取る

オイル・パン・ドレーン・プラグ取付け

1. ガスケットを取付ける
交換部品
2. オイル・パン・ドレーン・プラグを取付ける
35.5 N·m {3.6 kgf·m, 26.05 ft·lbf}

エンジン・オイル注入

Note:

表に記載されていないエンジン・オイルを使用すると、ディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)の劣化が早くなる。

エンジン・オイルを注入する

オイル・フィラ・キヤップ取付け

1. オイル・フィラ・キヤップ取付ける
2. エンジンを始動し、エンジン・オイル漏れを点検する

エンジン・オイル点検前準備

1. エンジンを暖気する
2. エンジンを停止する
3. 車両を放置する
4. オイル・レベル・ゲージを取り外す
5. オイル・レベル・ゲージのゲージ部分に付着しているオイルを拭き取る。
6. オイル・レベル・ゲージのX位置(読み取り面)を車両前方に向けて、ひねらずまっすぐに取付ける。

エンジン・オイル点検



Warning:

停#直後のエンジンは#温で#傷のおそれがあるため、作業は#分に注意する。



CAUTION:

エンジン・オイル量を正確に測定できないおそれがあるため、エンジン・オイル量を測定するときはエンジンを暖機(エンジン・オイル温: 約80 °C{176 °F}以上)して、10分以上放置した後に点検する。

Note:

DPFに堆積したPMを除去する時、エンジン・オイルに燃料が混ざり、油量が増えることがあるが、異常ではない。

Note:

エンジン・オイルの粘度は、エンジン・オイルの温度によって異なる。

Note:

エンジン冷間時はエンジン・オイルの粘度が高く、エンジン・オイルがエンジン各部からオイル・パンに戻るまで時間がかかるため、エンジン・オイル量を正確に測定できない。

Note:

エンジン・オイル温を約80 °C{176 °F}以上にして10分以上放置することで、エンジン・オイルがオイル・パンに戻り、エンジン・オイル量を正確に測定できる。

Note:

車両を水平な場所に置いて作業を行う。

1. オイル・レベル・ゲージを取り外す
2. エンジン・オイル量を点検する
3. オイル・レベルが下限位置以下の場合は、エンジン・オイルの漏れがないか点検し、漏れがなければエンジン・オイルを補充する。

Note:

オイル・レベルが下限位置以下の場合は、エンジン・オイルの漏れがないか点検し、漏れがなければエンジン・オイルを補充する。オイル・レベルが下限位置よりも下方の場合は、オイル・レベル・ゲージでエンジン・オイル量を確認しながら、エンジン・オイルを補充する。

4. オイル・レベルが下限位置以下の場合は、エンジン・オイルの漏れがないか点検し、漏れがなければエンジン・オイルを補充する。

Note:

オイル・レベルが下限位置の場合は、エンジン・オイルを1L{1 US qt, 0.9 Imp qt}補充する。オイル・レベル・ゲージの下限位置から上限位置間のエンジン・オイル量は1Lである。

5. オイル・レベルがX位置よりも上方の場合は、エンジン・オイルを交換する。

Note:

オイル・レベルがX位置よりも上方の場合は、エンジン・オイルを交換する。エンジン・オイルへの燃料混入が考えられる。

6. オイル・レベル・ゲージを取り付ける

サービス・ホール・カバー取付け

1. サービス・ホール・カバーを取り付ける。
2. ファスナを取付ける。
3. ファスナを取付ける。
4. ファスナを取付ける。
5. ファスナを取付ける。
6. スクリュを取付ける。
7. スクリュを取付ける。

カプセル・カバー閉

1. クリップを掛けてある場所から外す。
2. カプセル・カバーを閉める。
3. 回転ファスナを回す。
4. 回転ファスナを回す。

エンジン・オイル・データ・リセット

Note:

ECM (e-SKYACTIV PHEV付#) またはPCM (e-SKYACTIV PHEV無#) が記憶しているエンジン・オイル交換時期の積算データをリセットする必要があるため、エンジン・オイルを交換した場合はエンジン・オイル・データ・リセットを#う。

エンジン・オイル・データをリセットする。